

1. 調査目的

卒業後の就業実態を把握しつつ、在学中の教育プログラムが就業に活かされているかを調査する。また、社会人経験から在学中に何を学びたかったか等を調査し、今後、大学がどのような学修支援をすべきかを探る。

2. 対象

2020年度の学部卒業生（社会人1年目）

3. 調査方法

Webアンケート（メールにて回答依頼）

4. 調査時期

2022年3月7日～3月31日

5. 調査結果

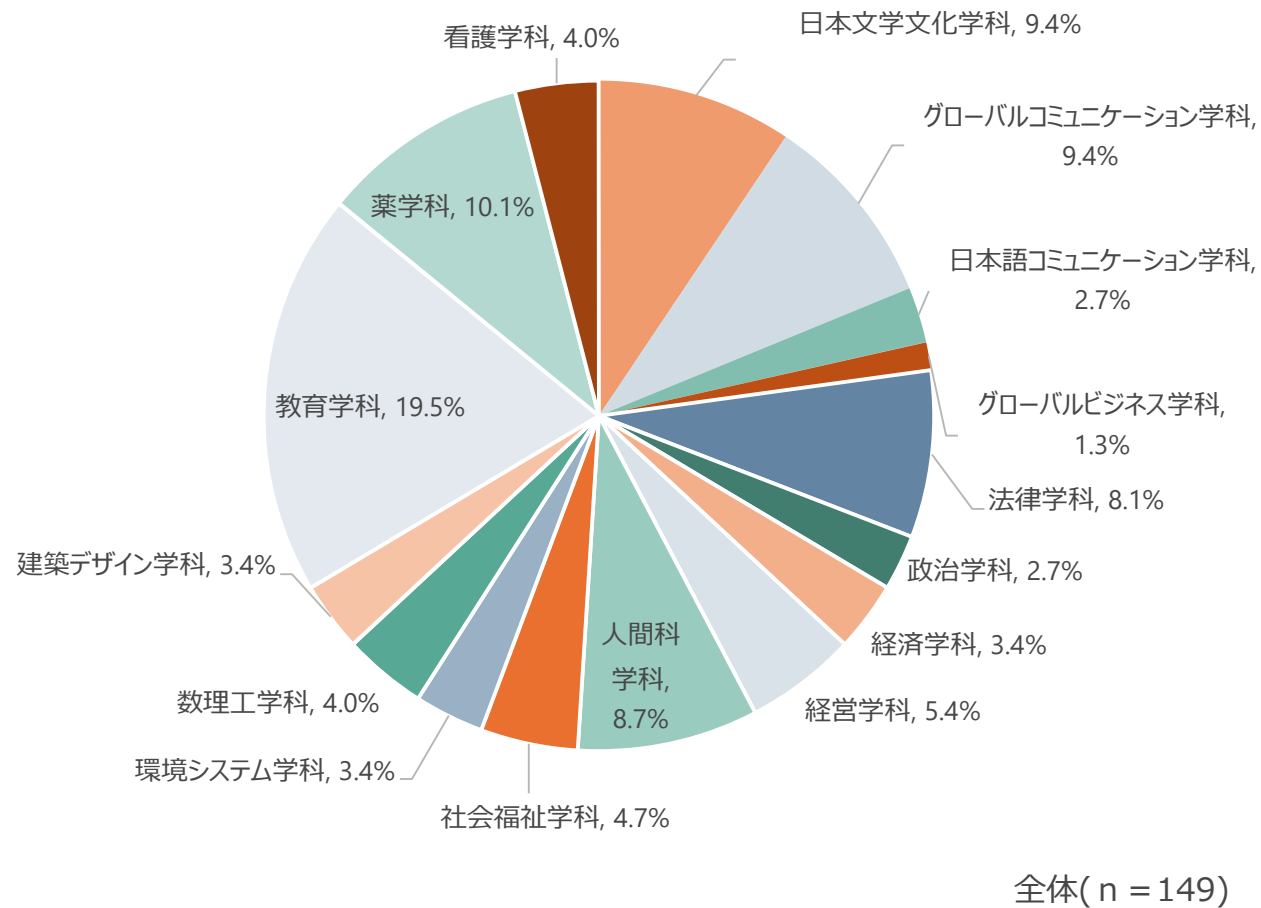
メール送信件数：1,491名

回答者数：149名

回答率：10.0%

全体集計結果 <①回答数について>

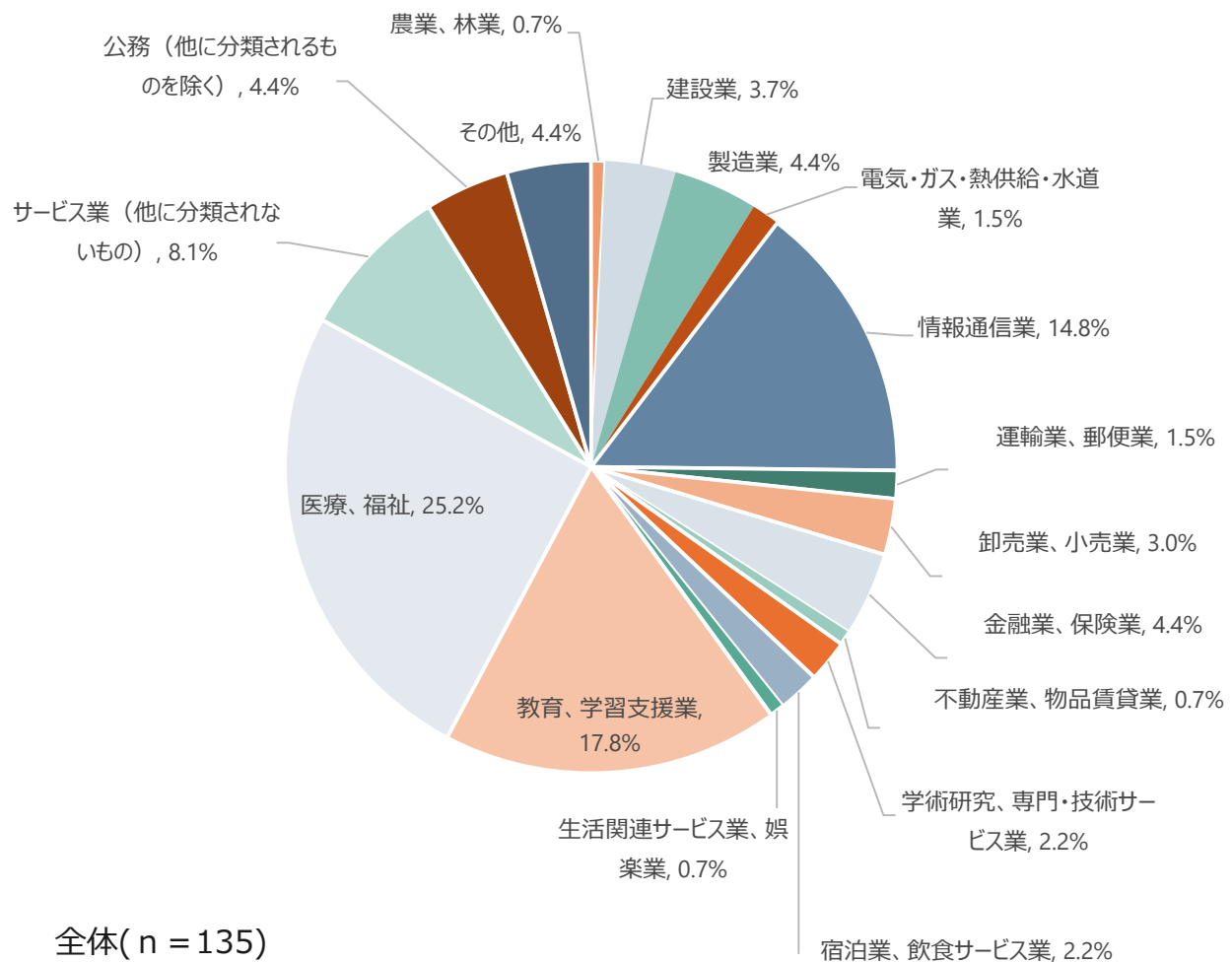
アンケートの**全体集計数は149**であり、学科ごとの数をみると教育学科、薬学科、日本文学文化学科・グローバルコミュニケーション学科の順に多い集計数となった。



学科名	回答数	回答率
日本文学文化学科	14	9.4%
グローバルコミュニケーション学科	14	9.4%
日本語コミュニケーション学科	4	2.7%
グローバルビジネス学科	2	1.3%
法律学科	12	8.1%
政治学科	4	2.7%
経済学科	5	3.4%
経営学科	8	5.4%
人間科学科	13	8.7%
社会福祉学科	7	4.7%
環境システム学科	5	3.4%
数理工学科	6	4.0%
建築デザイン学科	5	3.4%
教育学科	29	19.5%
薬学科	15	10.1%
看護学科	6	4.0%
合計	149	

全体集計結果 <②就業実態について>

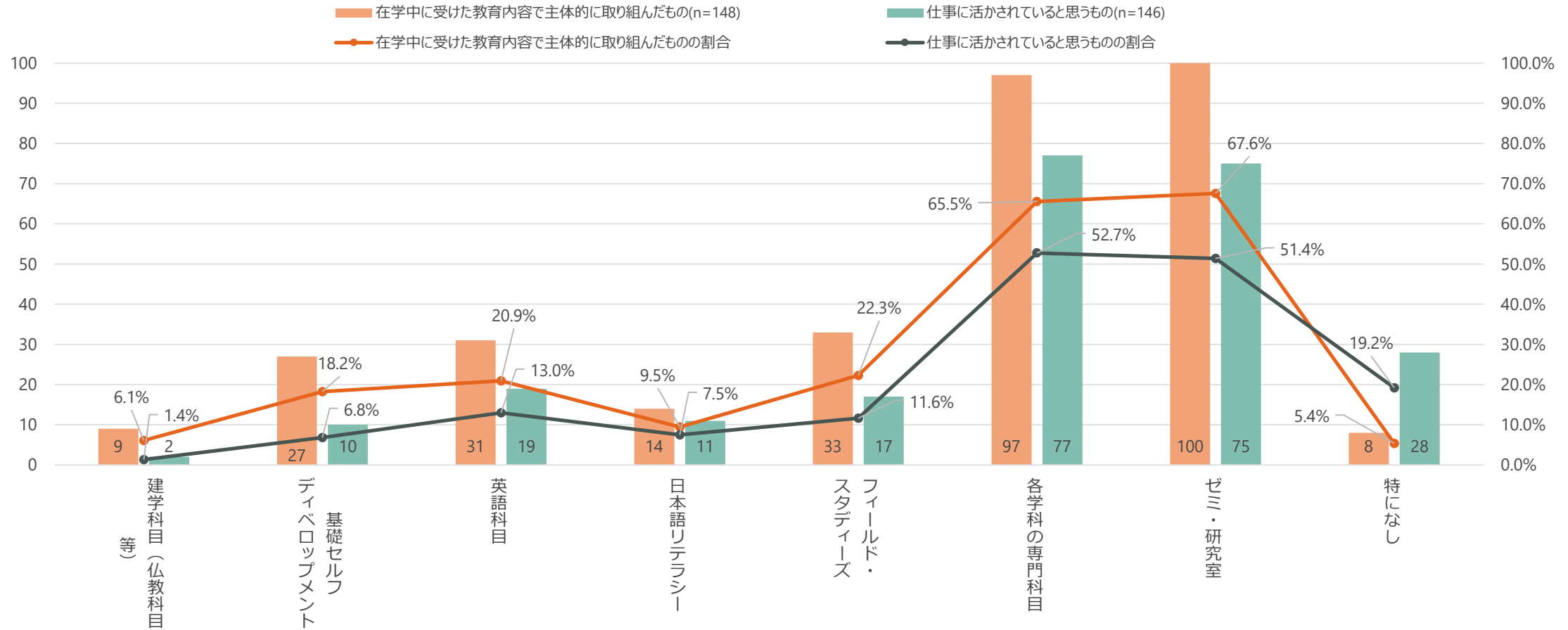
■業種別にみると「医療、福祉」、「教育、学習支援業」、「情報通信業」の順で人数が多い。



業種	人数	割合
農業、林業	1	0.7%
建設業	5	3.7%
製造業	6	4.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.5%
情報通信業	20	14.8%
運輸業、郵便業	2	1.5%
卸売業、小売業	4	3.0%
金融業、保険業	6	4.4%
不動産業、物品賃貸業	1	0.7%
学術研究、専門・技術サービス業	3	2.2%
宿泊業、飲食サービス業	3	2.2%
生活関連サービス業、娯楽業	1	0.7%
教育、学習支援業	24	17.8%
医療、福祉	34	25.2%
サービス業（他に分類されないもの）	11	8.1%
公務（他に分類されるものを除く）	6	4.4%
その他	6	4.4%
合計	135	

全体集計結果 <③-1.在学中の教育プログラムの評価について（教育内容）>

■ 在学中に受けた教育内容で主体的に取り組んだものと卒業後の仕事で活かされていると思うものについて、調査を行った。
 (建学、基礎セルフ、英語、日本語リテラシー、フィールド・スタディーズ、各学科の専門科目、ゼミ・研究室、特になし、から該当について複数選択可)



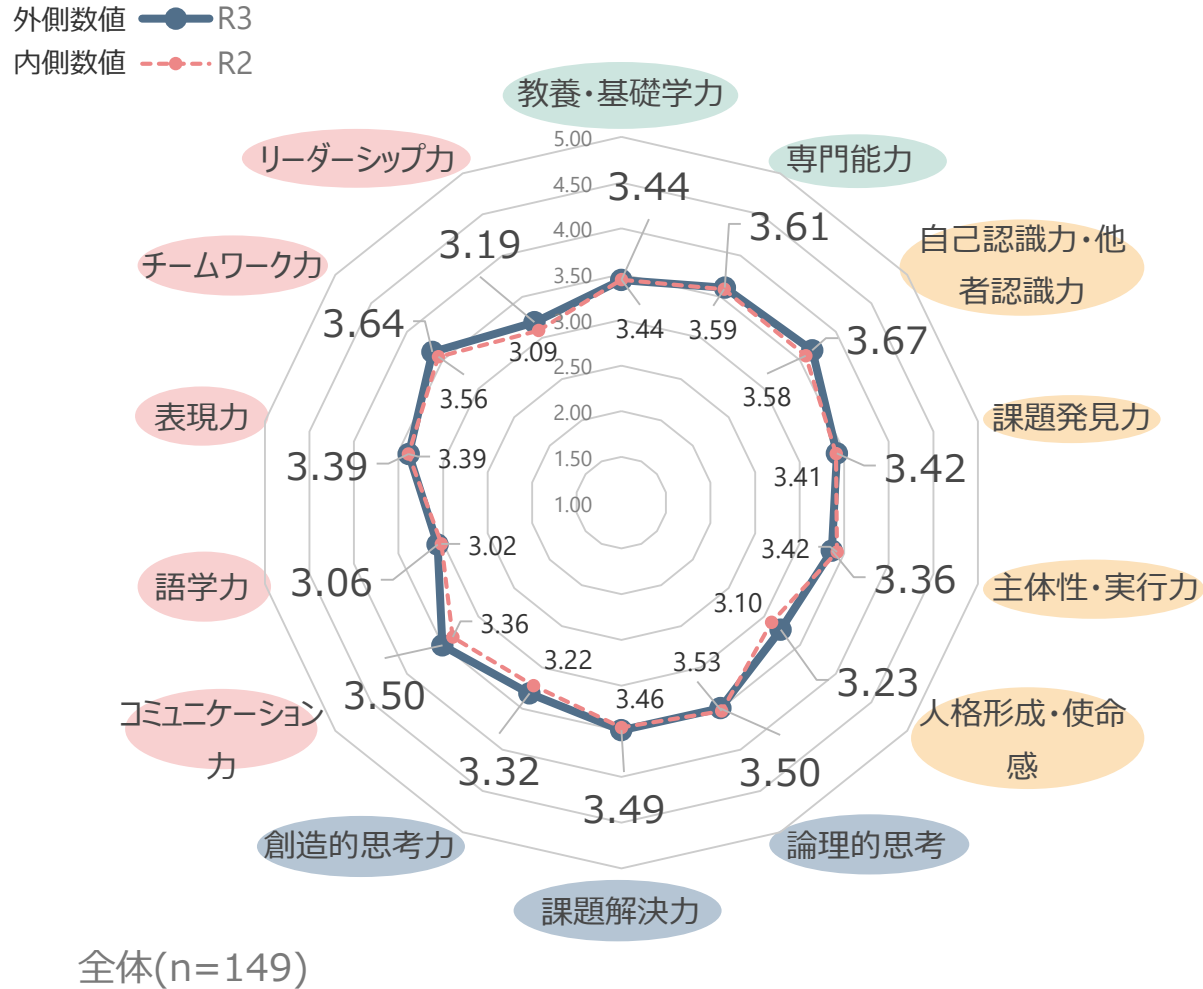
在学中に取り組んだ
 1位 ゼミ・研究室 (67.6%)
 2位 各学科の専門科目 (65.5%)
 3位 フィールド・スタディーズ (22.3%)

仕事で活かされている
 1位 各学科の専門科目 (52.7%)
 2位 ゼミ・研究室 (51.4%)
 3位 特になし (19.2%)

全体集計結果 <③-2.在学中の教育プログラムの評価について (DPの各能力)>

■ DPで定義する能力について在学中に身についたかどうか評価を行った。(5:とてもそう思う、4:ややそう思う、3:どちらともいえない、2:あまり思わない、1:まったく思わない)

- ・評価の上位は、「自己認識力・他者認識力」、「チームワーク力」、「専門能力」である。
- ・下位については、「語学力」、「リーダーシップ力」、「人格形成・使命感」である。



DP1 知識・専門性 【学びの基礎力を基盤とした専門能力】	教養 基礎学力
	専門能力
DP2 関心・態度・人格 【多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力】	自己認識力 他者理解力
	課題発見力
	主体性 実行力 ストレスコントロール力
	人格形成 使命感
DP3 思考・判断 【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】	情報分析 論理的思考 判断力
	課題解決力
	創造的思考力
DP4 実践的スキル・表現 【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】	コミュニケーション力 語学力
	表現力
	傾聴力 チームワーク力 リーダーシップ力